E766Z556H22

MITSUBISHI

三菱HID器具

HID安定器

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

（保管用）

形名 **QT1501**

取扱説明書

電源電圧100V、200V共用形です。
電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

🚫 絶対に行わないでください。	❗ 必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない。)　(火災の原因)
禁止	電源線は器具の外郭に直接触れない。(過熱して火災の原因)
禁止	器具取付けの際は電線を挟まない。(絶縁不良により感電・火災の原因)
禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。(絶縁破壊により感電・火災の原因)
厳守	施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。
厳守	取付方向指示のある器具は、本体表示及び取扱説明書に従い施行する。(指定以外の取付けは、器具の落下・感電の原因)

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温(35°C以上)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。(落下・感電・火災の原因)
禁止	さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。　(劣化による落下の原因)
禁止	器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。(絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)
禁止	風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。(火災・感電の原因)
禁止	雨水のかかる場所で使わない。(水気・湿気が入り感電の原因)
禁止	器具の外郭が天井内の造営材・ダクトに触れない。(火災・感電の原因)
禁止	表示された電源電圧以外では使わない。(火災・感電の原因)
禁止	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。(器具が過熱して火災の原因)

お願い

■ 器具の周辺温度が5～35°Cの範囲で使用してください。
■ 電源電圧は定格±5%の範囲で使用してください。
　又、急激な電圧降下(5%以上)がある場合、ランプが消灯することがあります。
■ インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
■ 退色を避けたい場所には使用しないでください。
　(被照射物が紫外線により退色、劣化することがあります。)
■ 植物のそばで使用しないでください。
　(植物育成障害となることがあります。)

お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

🚫 絶対に行わないでください。	❗ 必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(火災・感電・落下の原因)
禁止	器具やランプを布や紙などで覆わない。(可燃物をかぶせて使うと火災の原因)
禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。(火災・感電の原因)

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。　(火災・感電の原因)
禁止	ランプに塗料などを塗らない。(ランプが過熱・破損してけがの原因)
禁止	点灯中のランプから近距離の所で長時間の作業をしたり、ランプを直視しない。(皮膚炎症や高輝度の ため目を痛める原因)
禁止	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。　(過熱して火災の原因)
禁止	器具表示の指定ランプ以外は使用しない。(過熱して火災の原因)
禁止	節電その他の理由でランプを取りはずして間引き点灯しない。
禁止	ランプは落としたり、(物を)ぶつけたり、無理な力を加えない。　(ランプが破損してけがの原因)
厳守	ランプの外管バルブが割れた場合、直ちに電源を切り、ランプを交換する。(紫外線による障害や、破損・落下によりけがの原因)
厳守	ランプが点滅を繰り返したり正常に点灯しない場合、直ちに電源を切り、ランプを交換する。(火災の原因)
厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行なう。

インバータ器具の取扱い

■ 赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。
　(雑音が入ったり正常に作動しない場合があります。)
■ 器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。

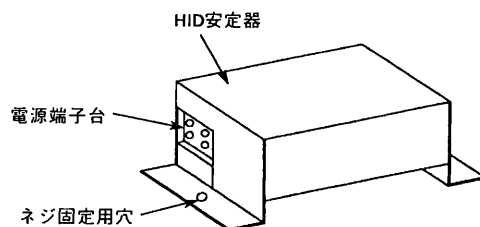
異常時の処置

⚠警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

連絡先
三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2728 (施設照明営業課)
☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)

各部のなまえと取付けかた

⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う。(不確実な取付けは、器具落下·感電·火災の原因)

1 取付前の確認

○器具質量に十分耐えるよう取付部の強度を確保する。

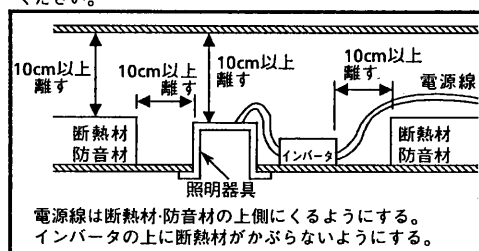
⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける。 (落下の原因)

2 器具を固定する。

○天井内施設の場合は、断熱材などで器具が覆われないようにする。
○複数個施設するときは、器具と器具が密集しないようにする。

⚠警告
断熱施工天井に取付けない。
(火災の原因)

断熱材·防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。

電源線は断熱材·防音材の上側にくるようにする。
インバータの上に断熱材がかぶらないようにする。

3 電源線を電源端子台に接続する。

インバータは100V/200V兼用ですので、電源電圧が100V、200Vどちらも使用可能です。
(1)電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

⚠警告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

(2)アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

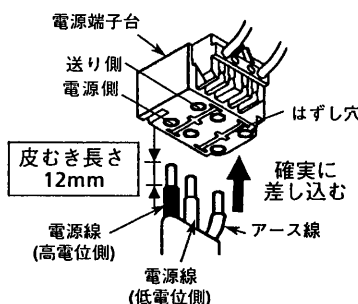
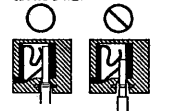
⚠警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。
(アース工事が不完全な場合は感電·火災の原因)

＜D種(第3種)接地工事が必要です。＞
○電源端子台の送り容量は15Aです。
○適合電線:Ø1.6mm単線　Ø2.0mm単線

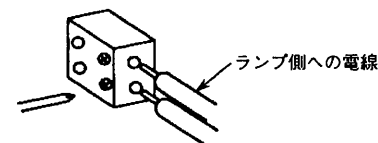
電源端子台
送り側
電源側
はずし穴
皮むき長さ 12mm
確実に差し込む
電源線 (高電位側)
アース線
電源線 (低電位側)

⚠警告
送り配線は照明器具専用とし、負荷容量を確認して接続する。
(負荷容量を超えると電源端子台が過熱·損傷し火災の原因)

⚠警告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む。(差し込み不十分は接触不良により火災·感電の原因)

○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込む。

4 ランプ側への電線をネジ端子台に接続する。

○Ø1.6mm単線又はØ2.0mm単線、もしくは　より線の場合は、先端に棒端子をつけるか、ハンダ上げを行う。

○ネジ端子台のネジをゆるめ、電線を差し込んだ後、確実にネジを締め固定する。

⚠警告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因
より線のまま、ネジ端子台に接続した場合は、接続不良による発熱により火災の原因

○器具とHID安定器の接地線をアース端子に接続する。

⚠警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。
(アース工事が不完全な場合は感電·火災の原因)

＜D種(第3種)接地工事が必要です。＞
○電源端子台の送り容量は15Aです。
○適合電線:Ø1.6mm単線　Ø2.0mm単線

5 ランプと器具の電線距離は1m以下にする。

○始動時の発振パルスが減衰しますので電線は1m以下にする。

○電線を束ねると、発熱により火災の原因となる。